

意思決定科学 2010 年秋学期 課題

2010 年 11 月 12 日 (金)

【概要】自分の周りにある「問題」と思えるものを、意思決定の流れに沿って記述・解決し、それをレポートに纏めて提出せよ。

意思決定の流れとは「問題発見」→「モデル化」→「解く」→「解評価・検討」→「意思決定・支援」のことである。詳しくは、最初の資料を参照すること。

レポートは A4 縦書きであれば、形式・枚数・書き方は問わない。ただし、以下のことがきちんと書かれていることが必須である。

自分のまわりにある「もやもやとした問題」を発見して、自分の言葉で、かつ、他人に理解できるように「きちんと定義」し、解決に導くための「モデル化」を行い、それをどのようにかして「解き」(その解き方を示し)、得られた「解」を示してその評価・検討を行い、最終的な「意思決定」をして問題解決をはかる。

また、この流れの中で、問題の解決や分析、解の評価・検討において、「多目的最適化」「ゲーム理論」「DEA」「AHP」のいずれかを必ず用いる。

データを用いる場合、そのデータの出典を明記する。自分でデータを作り出した場合は、どのようにそのデータを作り出したのかを記述する。

以上。

提出場所：教育支援課で得られる「表紙」をつけて、A4 縦書きの用紙に印刷して、所定の箇所をホチキスで止め、最終授業日に提出。